

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルシェル横根		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ~ 2024年 11月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日 ~ 2024年 11月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 29日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関との連携を定期的に図っている。	送迎時やに保育所等の職員と情報共有を行ったり、担当者会議を開催したりしている。	相談支援機関や保育所等機関との連携をより密にしていき、事業所での支援に生かしていくようにする。
2	研修の機会が継続的に設けられている。	事業所内研修や外部研修に職員が平等に参加できるように機会を提供している。	職員のさらなる支援の質の向上を目指し、多様な研修に参加できるようにしていく。
3	全体活動のプログラムを月ごとに決め毎日実施している。	児童の利用予定を確認し、特性や人数に応じて工夫してプログラムを決めている。集団活動を通してルールやマナーを知り、社会性を身につけることも目的としている。	児童の発達段階に応じて、活動内容の難易度や実施時間にも工夫を施していく。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのかかわりが少ない。	ご近所との交流や、地域資源の利用がなかなかできていない。	相談支援機関や保育所等機関との連携をより密にしていき、事業所での支援に生かしていくようにする。
2	父母会等の開催ができていない。	共働きのご家庭やシングルマザーのご家庭がご利用されている関係で各保護者の予定をすり合わせることが難しい。	職員のさらなる支援の質の向上を目指し、多様な研修に参加できるようにしていく。
3	「ペアレントトレーニング」を実践的に行うことができない。	ペアレントトレーニングを実践的に行える職員がない。	児童の発達段階に応じて、隨時適切な環境に整えていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	ルシェル横根							
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1			伸び伸び過ごせている。	限られたスペースのなかで、どう遊ぶか、どのように遊ぶとよいか等を常に思考する遊びの入口があります。これも遊びとして伝えたいです。又、最寄りの公園に外出もできるので伸び伸び遊ぶ時間も設けています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				子どものことを十分に理解していただいている。	ありがとうございます。引き続きより良い支援を行うことができるよう努めて参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9				こちらのニーズを聞いて支援していただいている。	モニタリング等ご協力いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	9					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				いろんなイベントがあり嬉しい。楽しいイベント、作業などを考えてくれている。	まだ取り組んだことのないイベント等も沢山、計画をしているのでお楽しみにしていらしてください。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	3	3	2	お出かけ先で交流があるかもしれないが、意図的な機会はないように思う。	保護者様方のご意見を伺いながら、機会づくりを行っていこうと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		5	1	3	そのような案内は特にない。	保護者様方のご意見を伺いながら、実施を視野に入れていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9				ほぼ出来ているが、たまに全スタッフに共有出来ていないときがある。	スタッフ間での情報共有を徹底してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9				いつもしっかり話を聞いてもらえる。	職員間でヒアリングスキルや傾聴の姿勢等、コミュニケーションスキルの向上に努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	2	3		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				その都度出来ている。 いつも迅速に対応いただいている。	より、ご安心できる対応とお喜ばれるようなサービスができるように努めて参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9				LINEにて写真を送って下さり、様子がみれる。	今後も継続して実施していく所存であります。ご要望等があればお伝えください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	2	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1		2	発生したことがない。 事故等の発生があれば説明をしてくれると思う。	万が一事故等があれば速やかにご連絡いたします。今後も事故、けがの未然防止に努めて参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9				毎日のルーティンになっています。	今後もご安心いただきながらご利用をしてもらえるように努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9					
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				とても感謝しています。 生活の一部になっているデイ、感謝しています。	楽しかったものを違う気持ちを上回るような楽しみ！楽しい！を引き出せるよう努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ルシェル横根				公表日	2024年 11月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5					
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		一階建ての建物でバリアフリー化されている。情報伝達しやすいように事務室内が工夫されている。	活動する事業所内ではより安全面を考慮する為、周りを見渡せる様な同線作りを心掛けるよう考えていきます。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5					
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		可動式のパーテーションを使用し、空間を分けることができる。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5					
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者からの意見を真摯に受けとめ改善に努めている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5			外部評価を行ったことはないが、必要性を鑑み実施を視野に入れていきます。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		様々な分野の研修に参加し、職員の質の向上を図っている。			
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		月ごとに5領域の発達支援プログラムを作成し公表している。			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5					
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5					
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5					
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5					
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		多様な職種の職員からの意見を集め活動プログラムの立案をしている。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		領域の発達支援をまんべんなく取り入れている。児童の発達に合わせて内容を変化させている。			

供 給	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		当日のプログラムの確認や役割分担を決めて支援している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援の振り返りを行い、今後の支援方針について共有することができている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		移行支援を必要とする児童が現状おりませんが、今後を踏まえ、移行について職員が情報提供できるように育成を行っていきます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		今後、機会づくりを行っていくように努めています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5		行政や学校機関との連携を図り、実施できるように努めています。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時に、活動内容、他者とのかかわり方等お伝えしている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		ペアレントトレーニングが実施できるよう、職員の育成、体制づくりを行っていきます。
・	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に丁寧な説明を心がけており、質問等があれば都度対応している。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		モニタリングや送迎の際に、相談しやすい環境整備を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		保護者の意見を取り入れながら、開催を視野に入れていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		5		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		5		故人情報の取り扱いに留意しながら、インスタグラムや、事業所HPに支援内容や様子を発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		5		個人書類等は鍵付きの書庫に保管、管理者が徹底して管理を行っている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		5		個々の特性に応じて、支援方法を職員間で考え方同じ方向を向いて支援ができるようにしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	できていない。	事業所のイベント活動に地域の方が参加できるような企画を考えていきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		5		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		5		BCPの内容を職員が理解し、非常事態に備えて必要な訓練を行うことができている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		5		服薬依頼書を用いたり、保護者からの聞き取りを十分に行ったりして状況把握を行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5		児童の主治医とは連携を取っていません。保護者からの聞き取りを十分に行い、必要があれば医師の指示を仰ぐようにしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		5		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		5		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		5		定期的な研修を開催し、適切な知識を身に付けています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		5		個別支援計画に記載し、説明を行っている。